

ビジネスリーダーに聞く

県産果実のジュース販売を手がけるヒルズ・ファーム(甲府)が、府内各町に「シャインマスカット」や「ベリー」を使用した「ベリージュース」を「創業果実」としてブランド化し、電子商取引(ECC)

サイトに全国販売している。井上裕斗社長は「購入者に驚きを与える商品開発を心がけていきたい」と話。
「事業内容は、現在、県産フルーツなどを使用したドリンク8種類を展開

ヒルズ・ファーム(甲府) 井上裕斗社長



井上裕斗氏 中央市出身。東海大甲府高を卒業後、県内企業に就職し、2021年に起業。31歳。

愛読書 漫画「ONE PIECE (ワンピース)」
趣味 ショッピング、食べ歩き

影響を受けた人 デジタルマーケティング事業などを手がける都内の企業の役員。マーケティングについて指導を受けた

果実飲料「6無」こだわり

している。720ml瓶に2〜3房(1房)の厳選したフルーツを使用し、無添加、無加糖、無加水、無濃縮、無調整、無着色にこだわっている。価格 1箱(12本入り)5400〜52400円。以来、右肩上がり販売高が伸びている。新型コロナウイルス禍で人

国際線のファーストクラス提供するなど当社の商品を売ってもらえる機会は増えている。経営者として重視していることは、「他にはない新しいものを作り出すことを重視して商品開発に臨んでいる。驚きやワクワクを感じてもらい、社会に影響を与えるような商品を作りたい。また、人と人との価値観に大きな影響を与えたい。」
「注力することは、共同の商品開発などを通じて農家の助けになる事業を展開していきたいと思っている。以前に甲斐市の特産品『赤坂とまと』を原料にしたトマトジュースを開発した。注力すること。『香ばや台湾、ドバイなど海外の百貨店でも当社の商品を扱ってもらっているが、輸出先を増やしていきたいと考えている。人口減少などで国内市場は縮小していく一方だが、フィリピンでは旅行者が増えてホテルがどんどん建設されるなど世界の市場は拡大している。さらにアジアでは日本の果物が人気で、果物をみんなに使った当社の商品も大きな需要がある」とみている。
〈聞き手・山本晶輝〉
「次回は8日に掲載します。」

「2021年3月に設立して、2022年3月に設立して、評価の高いホテルでも販売している。今年3月には羽田空港」
「5つ星を獲得した『ギンギン』」
「5つ星を獲得した『ギンギン』」

「20歳の頃に経営者の先輩から『他人と違うことをやれ』とアドバイスしてもらったこと。日常会話の中の何気ない言葉だったが、当時の私にとつながっている。」